

Yes! HOTLINE

2026
vol.434



熊本県商工会連合会 会長

笠 愛一郎

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、各商工会ならびに県連合会の事業推進に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

振り返りますと令和7年は、景気回復への期待が続く一方で、原材料費やエネルギー価格の高騰、人手不足の深刻化、最低賃金の大幅な引上げなど、事業者の皆様には依然として厳しい経営環境が続いた一年でありました。

また、令和7年8月に本県を襲った豪雨災害では、県内の多くの地域で中小企業・小規模事業者が浸水や設備損壊などの甚大な被害を受けられました。改めて、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

このような中、本会では、事業者の事業継続発展に向けた伴走支援を関係機関と連携して行い、地域の経済やコミュニティの維持・発展に努め、災害からの復旧復興、価格転嫁対策、事業承継・起業、DX推進や販路拡大等を進めてまいりました。

とりわけ、9月に開催した「第30回くまもと物産フェア」は、6年振りにグランメッセ熊本で開催し、関連イベント「食のみやこ熊本EXPO」「くまもとグッドプロダクト賞」とともに、盛会に実施することができました。

また、8月の記録的豪雨による災害や全国最大の上げ幅となる最低賃金という事業運営に直結する課題につきましては、迅速な被災状況把握に努めるとともに事業者の皆様の声を集約し、国・県等への要望活動を実施しました。これに対しては、チーム熊本をはじめ関係者の皆様のご理解と強力なご支援の下、熊本県の11月補正予算において、これまでの支援枠を超えた被災事業者への事業再建支援、持続的な成長・発展を目指す中小・小規模事業者に対する思い切った予算措置を講じていただいております。

令和8年は、これらの施策を最大限に活用しながら、豪雨災害からの速やかな復旧復興、事業者の持続的な成長・発展につなげることによって、地域経済が再び活力を取り戻す重要な節目であると考えています。このことも踏まえて、私は本年の抱負を象徴する漢字として、「駆」を選びました。

これは、「地域とともに前へ“駆ける”」「課題解決に向けて迅速に“駆け付ける”」「未来に向かって新たな道を“駆き開く”」という思いを込めたものであり、商工会が地域企業の最も身近な支援者として、スピード感を持った行動を貫くという決意の表れであります。

本年も、厳しい経営環境が続くことが予想されますが、「挑戦する事業者を支え、ともに未来へ駆け出す商工会」を合言葉に、復旧復興の支援をはじめ、地域の持続的な発展に全力で取り組んでまいります。

結びに、会員の皆様のご健勝とご繁栄を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。





熊本県知事
木村 敬

明けましておめでとうございます。

熊本県商工会連合会並びに各商工会の皆様には、日頃から県政の推進に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

初めに、昨年8月の豪雨により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。熊本県としましては、早期に復旧・復興を図るため、昨年末策定した「令和7年8月豪雨からの復旧・復興プラン」に基づき、被災者の生活や事業を再建し、「県民みんなが安心して笑顔になる」熊本に向かえるよう、全庁一丸となって精一杯取り組んで参ります。

知事に就任して2年目を迎えた令和7年を振り返りますと、県政にとって新たな可能性を切り拓いた一年でした。

JASM第2工場の本体工事が着工し、熊本県における半導体関連産業の集積に大きな弾みとなりました。また、TSMC本社を訪問した際、第3工場を含む更なる投資についても熊本県で検討いただくよう要請しました。世界の未来において必要となる新たな産業づくりに積極的に関わることにより、次世代に引き継ぐことができる産業基盤を、熊本において構築することが可能になると考えています。

知事就任3年目を迎える本年は、これまで種をまき、育ててきた様々な政策が、一つずつ確実に花開き、実を付け、大きくなっていく一年にしなければならないとの決意を新たにしたところです。

「世界に広がる」「人を育てる」「共に創る」を県政のキーワードとし、「現場主義」を大切にして、県民の皆様とともに対話と挑戦を続け、「県民が主人公の県政」を推進して参ります。

今後とも、熊本県商工会連合会並びに各商工会の皆様方の御理解と御支援・御協力を賜りますようお願いいたします。結びに、本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。



全国商工会連合会会長
森 義久

新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、台風や豪雨による自然災害、食料品を中心とした物価高、米国による関税措置、大阪・関西万博の開催、我が国史上初となる女性総理大臣の誕生など、社会経済情勢が大きく揺れ動く一年でした。

国内景気は、大企業を中心に緩やかな回復基調が見られた一方で、中小企業・小規模事業者には目を向けますと、エネルギー・原材料価格の高騰、最低賃金の引き上げ、人材確保の困難など、依然として厳しい経営環境が続いております。さらに、生産性向上、事業承継、販路開拓、防災・減災対策、デジタル化への対応など、多岐にわたる課題が存在しています。

こうした中、昨年11月に開催した「第65回商工会全国大会」では、全国から約3,000名の商工会関係者の皆様にご参集いただき、「中小企業・小規模事業者向け支援施策の大幅拡充」「地方創生実現に向けた支援施策の実施」「最低賃金の引き上げ等に伴う社会保険料等の負担軽減」などを満場一致で決議いたしました。

中小企業・小規模事業者が直面する重要課題の解決に向け、これらの決議項目を実現し、目まぐるしい時代の変化に的確に応えるきめ細やかな支援を、今後も全力で進めてまいります。

我が国経済はいま、本格的な成長型経済への転換期にあります。日本経済の中核を担う中小企業・小規模事業者には、持続的発展に向けた新たな挑戦へ踏み出すことが求められています。そして、地域に根差した支援機関である商工会に対する期待も益々高まっています。

商工会の座標軸は、いつの時代も変わることなく「会員」と「地域」にあります。どれほど社会が変化しようとも、中小企業・小規模事業者の伴走支援に徹するとともに、地域の発展を力強く支えることが使命であることを、組織一丸となって共有し、今年一年、体現してまいりましょう。

地域の声を確実に国へ届け政策に反映し、会員・地域の現状に応じた支援につなげるため、関係機関との連携を一層深め、意見具申や要望活動にも取り組んでまいります。私自身も全国商工会連合会会長としての責務を果たすべく、全力全身で邁進する覚悟でございます。

結びに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が、駿馬のごとく力強く歩みを進める一年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。



令和8年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、旧年中は熊本県商工会青年部の活動に対し、格別なるご理解とご支援を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。引き続き本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年の県青連事業におきましては、県青連城北地区大会をはじめ、令和7年度より新たに開始した「U-35部員間交流事業」など、いずれの事業も盛会に開催することができ、大変喜ばしく存じます。

さらに、9月に開催された九州地区商工会青年部合同研修会(佐賀大会)においては、主張発表大会で熊本県代表・山鹿市商工会青年部の栗川恭平氏が、15年ぶりとなる最優秀賞を受賞され、11月に岩手県で開催された全国大会への出場権を獲得されたことは、県青連にとって大きな誇りであります。

本年も、県青連は若者らしい柔軟な発想と行動力をもって地域の継続的な発展に寄与し、「地域に必要とされる商工会青年部」の実現を目指し、より一層事業に邁進してまいります。

結びに、本年が皆様にとって更なる飛躍と発展の年となりますことを心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、熊本県商工会女性部連合会の活動にあたたかいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、物価高やエネルギー費の上昇、人手不足など、私たち小規模事業者にとって悩ましい状況が続いた一年でした。また、デジタル化の加速や頻発する自然災害など、地域の商工業を取り巻く環境も大きく変化してきております。その中にあっても、皆さまが日々懸命に事業に取り組まれている姿に、私自身も力をいただけてまいりました。

令和7年度の女性部事業は、ミニバレーボール大会やリーダー研修会をはじめ、各地域での勉強会や交流の場が無事に開催され、多くの笑顔とつながりが生まれたことを嬉しく感じております。部員の皆さまの前向きな参加と支え合いのおかげで、活動がより温かく、豊かなものになりました。

一方で、部員の高齢化や部員数の減少といった課題は続いています。そのような状況だからこそ、私たち女性部の存在が、地域にとってより大切になっているのだと思います。女性ならではの視点や気づきを活かし、無理なく楽しく参加できる活動を皆さまと一緒に育てていきたいと考えております。小さな取り組みでも地域を元気にする力になる！その思いを胸に、今年も歩んでまいります。

皆さまにとって、この一年が健やかで笑顔あふれるものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。引き続き、女性部活動への温かいご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



熊本県商工会
青年部連合会会長

山村 弥平



熊本県商工会
女性部連合会会長

黒澤 きよ子

商工会長研修(トップセミナー)並びに 国会議員との商工行政懇談会



(株)WorkVision 公共ソリューション技術部
技術第1グループ 参事 奈良 英孝 様

全国大会当日の令和7年11月20日(木)帝国ホテル東京において、商工会長トップセミナーを開催しました。

株式会社WorkVision技術第1グループ参事の奈良様より「生成AIの事業への活用」のテーマでご講演をいただきました。また、全国商工会連合会へ出向中の舩黒 寛大経営指導員より「全国連での業務報告」がありました。

トップセミナー終了後に開催した商工行政懇談会では、熊本県選出の国会議員の方々に加え、越智俊之参議院議員をご来賓としてお招きし、熊本県連の要望事項や全国大会での決議事項を陳情するなど有意義な意見交換を行うことができました。



金子 恭之衆議院議員へ
熊本県連の要望書・全国大会決議事項の陳情書を手交



国会議員の方も多数ご臨席

商工会全国大会

令和7年11月20日(木)NHKホールにおいて、第65回商工会全国大会が開催され、本県から44名の商工会長等が参加しました。

大会では、高市内閣総理大臣をはじめ多数のご来賓がご臨席の中、中小企業・小規模事業者向け支援施策の大幅拡充や小規模事業者を支える商工会の機能・組織力向上などを盛り込んだ議案提案を代表して笠会長(全国連副会長)が行い、会場参加者による満場の拍手により決議案が採択されました。

【大会決議事項】

- I. 中小企業・小規模事業者向け支援施策の大幅拡充
- II. 地方創生実現に向けた支援施策の実施
- III. 最低賃金の引き上げ等に伴う社会保険料等の負担軽減
- IV. 災害からの復旧・復興とリスク管理の強化
- V. 小規模事業者の活動を後押しする税制・金融制度の整備
- VI. 小規模事業者を支える商工会の機能・組織力向上



森全国商工会連合会長



高市内閣総理大臣



笠会長による意見表明・大会決議

地域に愛され750年。球磨郡多良木町の自動車整備工場を引き継ぎませんか？

有限会社松本自動車は、熊本県球磨郡多良木町に所在する自動車整備・販売事業者です。昭和46年、現代表者が23歳のときに個人創業し、その後法人化しました。50年以上にわたり、地域に根ざした事業を継続してきました。現在は、ご主人(77歳)と奥様の二人で経営しています。

主な事業内容は、自動車整備・修理が売上の約7割、新車・中古車販売が約3割を占めています。車検、一般修理、板金、塗装、各種保険対応まで幅広く対応しており、顧客は多良木町を中心に、球磨郡内の一般個人客や行政関係等で構成され、安定した地域商圏を有しています。事業所は、多良木町中心部から車で約10分の立地にあり、広い敷地を有しています。大型リフトをはじめ、自動車整備に必要な設備一式を保有しており、現在も良好に稼働していることから、事業継続に必要なハード面の基盤は十分に整っています。代表者は、年齢に伴う体力的負担を背景に、事業承継を希望しています。長年にわたり築いてきた安定した顧客基盤と充実した設備を活かし、事業を次世代へ円滑に引き継ぐことを意向としています。

第三者承継にあたっては、一定期間、先代経営者による引き継ぎ支援を行うことを想定しており、円滑な引き継ぎに向けた協力体制が見込まれます。

地域に根ざした自動車関連事業の承継を希望する事業者・個人からの相談を募集しています。



松本自動車外観



松本自動車内観



代表 松本 徹夫さん

事業所概要

- ◆球磨郡多良木町
- ◆創業:昭和46年
- ◆自動車整備業

本件については多良木町商工会で支援しておりますので、まずは商工会へご相談ください。掲載事業者様へ直接のお問い合わせはお控え頂きますよう、お願い申し上げます。

問い合わせ先
多良木町商工会
☎0966-42-2525

山江村

事業承継連携支援に関する協定締結式

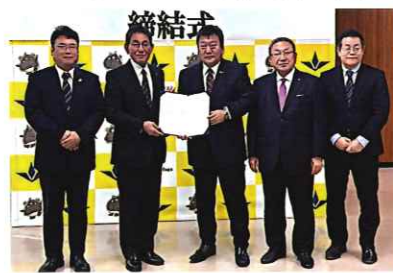


締結式の様子



山江村商工会 中竹会長

令和7年11月25日に山江村、山江村商工会、日本政策金融公庫八代支店、熊本県商工会連合会の4者により、事業承継連携支援に関する協定が締結されました。中竹山江村商工会長は、「長年受け継がれてきた事業や技術を次の世代へつなぐことは、地域経済を維持・発展させる上で重要な課題。今回の協定を通じ、創業支援や経営改善支援とあわせて、計画づくりから実行支援、承継後のフォローまで、一貫した伴走型支援を推進していきたい」と述べられました。



集合写真

山都町

事業承継連携支援に関する協定締結式



締結式の様子



山都町商工会 田辺会長

令和7年11月26日に山都町、山都町商工会、肥後銀行浜町支店、熊本銀行浜町支店、熊本県信用組合高森支店、日本政策金融公庫熊本支店、熊本県商工会連合会の7者により事業承継連携支援に関する協定が締結されました。各機関が連携・

協力して、事業承継に関する支援制度やセミナー、個別相談会等を周知・実施することで、山都町の事業承継問題に悩む事業者の皆様を一件でも多く支え、町内商工業の発展に繋げてまいります。



集合写真

会員のみなさまへ ～万が一の人身事故に備えて～

まごころ共済 (自動車事故費用共済) のご案内

万一、人身事故を起こしたあなたに対し

- 任意保険でカバーできない誠意を示す費用に
- お見舞いや生花・菓子代に
- 相手側の補償に対しては
契約者の実際の経済的負担額を補償

補償は手厚く！

死亡事故	300万円限度
入院1日	4,500円限度
通院1日	2,250円限度
車両共済金特約	30,000円限度

加入して良かった！
共済金はご契約者にお支払い！



掛金はわずか！

自家用普通乗用車	月払1,110円	年払11,100円
自家用軽乗用車	月払660円	年払6,600円

※上記以外の補償内容、引受対象車種等、詳しくはパンフレット・重要事項説明書をご確認ください。

共済金お支払い例

【死亡共済金 事例】

子供が、車にはねられ死亡した事案で、遺族が訴訟を起こし裁判となったが、任意保険で対応の他、契約者(加害者)は、最終的に「まごころ共済を利用し、共済金300万円の範囲内で誠意(自己負担)を示した」ため、遺族も誠意を認めてくれて解決。実刑判決は免れた。



【車両共済金特約 事例】

自宅車庫にバックで駐車中、左後方をカーポートに接触。修理代に50,000円かかった。

車両事故共済金 **(支払共済金) 30,000円**

※契約者自己負担額(修理代)が3万円以上生じたときお支払いします。

※ただし、共済期間内に1回が限度となります。



お問合せ、お申込は…
最寄の商工会まで

- 商工貯蓄共済
- ふれんど共済
- 火災共済
- まごころ共済
(自動車事故費用共済)
- 自動車共済
その他 各種共済



安心、信頼、ゆたかな未来へ。

くまもと共済

熊本県火災共済協同組合



くまもと共済の
ホームページはこちら

<https://kumamoto-kyousai.or.jp>

本部:熊本市中央区安政町3番13号(熊本県商工会館5階) TEL 096-325-3411
八代営業所:八代市松江城町6番6号(八代商工会館2階) TEL 0965-35-5686
天草営業所:天草市栄町1番25号(本渡商工会館2階) TEL 0969-24-2516